NPO・行政・企業・地域の情報発信により、アイデアと出会いの機会を創ります。

ニュースレター　イデア

2014

4月号

つながり×ひろがる　　いちのせき市民活動センター

～もくじ～

2｜いちのせき市民活動センター活動紹介

3｜団体紹介~**室根産地直売組合** ~（室根）

4｜地域紹介~**千厩町　濁沼自治会**~（千厩）

5｜企業紹介~ **有限会社　丸已建設**~（東山）

6｜歩が行く~**さくらなみき自閉症美術館＆café さくらなみき**~（一関）

いちのせき市民活動センター

活動紹介

①市民活動相談支援
②情報発信・収集、啓発支援
③地域への参画支援
④話し合い支援
⑤他事業との連携
⑥地域協働体への組織づくり支援

いちのせき市民活動センターが、
行っている活動をご紹介いたします。

講座紹介
情報発信のススメ

講座会場の様子

より効果的な情報発信を目指して

せんまやサテライト主催の地域づくり講座Ⅱ「情報発信のススメ」は、2月17日に同サテライトで開催。紙媒体・マスコミ・インターネットを活用した情報発信の手法を、それぞれの特徴や強み・弱みを交えて解説。加えて、より効果的に情報を伝えるためのコツや、すぐに実践できる技術等を紹介しました。

特別ゲストには無料情報紙「ｈａｎａｕｔａ」を発行している（有）光成工業から、代表取締役社長の村上さんとゼンマイラボ事業部の清水さんをお迎えし、情報紙を作る上で工夫していることや読者を引き付けるポイント等を学習。最後に「大切なのは道具や手法の組み合わせ方」と締めくくり、講座の後は全員で交流を深めました。

協働の取組み
第33回舞川地区自治公民館大会

講演の様子

「協働のまちづくりと自治会活動」をテーマに

より良い地域の発展に寄与する趣旨で開催された舞川地区自治公民館大会。今年のテーマは「協働のまちづくりと自治会活動」で、小野寺センター長が藤沢町自治会協議会の千田会長とリレー形式で講演を行いました。「地域づくりは自分達の地域で安心、幸せに暮らしていく為のもの。人口減少等環境変化もあり、これからは地域と行政がそれぞれの強みを活かし、知識・経験・関心を持ち寄って話し合うという協働で支える地域づくりが求められる」と協働について語り、金山棚田を守る会、舞川鹿子躍保存会の活動発表には「テーマ型と地縁型の活動の融合と、継続していく事が大切」と助言。集まった160人の聴衆は熱心に耳を傾けていました。

話し合い支援
４Ｈクラブワークショップ

ワークショップの様子

若手農業者が集い魅力ある農業を考える

市内の若手農業従事者で組織される「両磐４Ｈクラブ」のワークショップは、3月18日に合同庁舎で開催。同クラブは、農業経営を行う上で身近な課題の解決方法を検討する等、消費者や他クラブとの交流を通じ、「日本や世界で貢献できる農業者」になることを目的に活動を展開。今後、クラブとして活動の方向性や目標を明確化し、事業化に向けた意見交換会を継続することで、将来の農業の姿を描いていきます。

当センターでは、毎回の会議のファシリテーターを担当させていただき、より円滑な話し合いをするためのお手伝いをしています。今回は「結論を出さない会議」として、それぞれの胸にある想いを出し合い、相互理解を深める場となりました。

室根産地直売組合

団体紹介

副組合長 市嶋豊さん

～基本情報～

◆組合長：菅原　隆儀　さん

◆連絡先：ふれあいむろね「旬菜館」

〒029-1202 一関市室根町矢越字高沢 215-1

◆電話：0191-64-3901

新鮮な地元食材が並ぶ賑わいの産直
「ふれあい」をモットーに、人と人が繋がる場づくり

豊富な品揃えが自慢 笑顔生まれる地域の産直

一関市から気仙沼市へ続く、国道２８４号線沿い。矢越駅の西約３００ｍの場所に、室根産地直売組合が運営する「ふれあいむろね旬菜館」があります。豊かな自然に囲まれた明るい店内には、地域の新鮮野菜、海産物、果物、工芸品等が並び、町の情報発信の場、人と人とのふれあいの場にもなっています。

現在は、室根町を中心に約１２０名の方が出荷登録し、豊富な品揃えの中でも特に花の種類・量が多いことが強み。室根町には花農家が多く、お彼岸やお盆の時期は、切り花を買い求めるお客さんで賑わいます。また、陳列された商品の傍には、心温まる生産者のメッセージや写真、広告を添え、生産者とお客様が共に安心・楽しめる工夫が施されています。

３年前の震災時には、震災日の２日後から営業を再開。沿岸から食品を求めて多くの方が店に押し寄せ、店内が空っぽになるまで営業し、停電の中でもお客さんを気遣い、支え続けました。いかなる時も、地域のために新鮮な地元食材を提供したいという気持ちは揺るぎません。

旬菜館の新しい目玉商品 「鍋焼き」開発事業

昨年からは、お客様により買い物を楽しんでもらえるようにと毎月イベントを企画。２月はバレンタイン特集と、工芸品の中古市を開き、３月は花商品を充実させました。

また、旬菜館の目玉商品を開発するため、昨年６月から「地場特産品『なべ焼き』開発事業」を始動。「なべ焼き」とは、小麦粉に水で溶いた砂糖を加えて焼いたケーキのことで、室根地域では家庭でつくるおやつの定番として昔から慣れ親しまれています。地元食材を組み合わせやすく、まだ商品化されていないことが決め手でした。

事業の中心となったのは、料理上手なおばちゃん組合員の方６名。それぞれが作った鍋焼きは、見た目も味も異なり、それぞれの家庭の味が出やすいのも鍋焼きの魅力の一つ。限られた費用でより美味しくするには、何の材料をどれくらい、どのような手順で料理するのが最善か、試行錯誤を重ねました。

その上で参考になったのは、店頭での試食アンケート。年齢や出身地域の異なる様々な方を対象に、用意した数種類（味付け無し、かぼちゃ、生姜、ココア等）の鍋焼きを食べ比べてもらい、その評価を分析。「若者には生姜が人気で、見た目の評価が高いのはココアだった」と副組合長の市嶋さんは振り返ります。

現在は、パッケージやラベルのデザインが確定し、発売開始を目前に最終調整に移行中です。

市嶋さんは、「鍋焼きを目玉商品として、産直の特徴を出していきたい。品揃えの充実や、イベントを仕掛けることで、お客さんに『また来たいね』と思ってもらい、主役である生産者とお客さんが輝ける運営ができればと思います」と抱負を語ってくれました。

店頭で試食アンケートを行う
女性組合員の方々

一関市千厩町・濁沼自治会

地域紹介

小野寺 敏男 さん

～基本情報～

◆自治会長：小野寺　敏男　さん（1 期 2 年目）

◆千厩地域磐清水地区で、101 世帯 367 人が暮らす濁沼自治会では、専門部を部会に分け、互いに協力し合いながら地域づくりに取り組んでいます。

地域のつながりを大切にしながら、時代に合った自治会のあり方を考える

時代と共に変化してきた自治会の姿

濁沼自治会は、千厩地域の町場から東山地域松川地区へ向かう県道267号松川千厩線沿いにある、歴史のある名跡等が多く残っている地域です。

今回は、自治会結成以前から地域の活動を支え、現在は自治会長として地域の実情や時代に合った組織運営を考え続けている小野寺敏男さんにお話を伺いました。

同自治会は、昭和53年に千厩町内に先駆けて地区内各種団体の集合組織として設立された「濁沼団体協議会」が母体となり、昭和59年に集会所「集落センターにごりぬま会館」を建設。昭和62年に住民による自治活動のより効果的な実践を期待し、全世帯加入のもと濁沼自治会が結成されました。平成8年に組織構成を「総務部会」「社会部会」「文化部会」の3つの部会と9つの専門部からなる現在の体制に整え、平成19年には集会所等の財産を適切に保有するために認可地縁団体として法人格を取得しました。

各部会・世代間の連携による自治会活動

総務部会は、全体的な事務処理の他、平成25年7月27日の大雨災害の際には災害対策本部を設置し、地区内の見回りや全世帯の安否確認をしました。

社会部会では、社会安全部が前述の大雨災害時の経験から、自主防災訓練の際に消防署員の協力のもと図上訓練を実施。土砂崩れがあった場所や一人暮らし世帯等を図面に書き出し、地域の様子を把握しました。また、健康福祉部は健康教室の開催、成人病検診の呼びかけや送迎、各班役員（隣組役員）による見守り活動を行い、伝統継承の面では産業部がしめ縄づくりを開催し、後継者育成に取り組んでいます。

文化部会では、文化体育部が平成16年から平成24年まで「ふるさと再発見ウォーキング」を開催し、地域の歴史に詳しい住民の解説を受けながら地区内の旧跡や名所、神社仏閣等を見て歩き、ウォーキング後には各スポットに標柱を設置。「地区内を一通り歩き回った成果をマップにして残していきたい」と小野寺さんは今後の抱負を語ります。

そして、同自治会が一番盛り上がる行事は毎年8月15日に、にごりぬま会館の庭で行う「濁沼夏祭り」です。盆踊りや出店の他、子供達の太鼓の演奏、青年組織である未来部のビアガーデン、さらに昨年は65歳以上の住民から組織される長寿部が竹筒にロウソクを灯す「希望の灯り」を世帯数分作成し、参加者から喜ばれました。

模索し続ける自治会のあり方

「今の子供や親達は休日も忙しくなり行事参加が難しくなってきた。行事を増やすよりも整理する時期かもしれない。一人暮らし高齢者や生活が苦しい人にも思いを寄せ、住民の福祉が保たれる地域づくりができる自治会にしていきたい」と語る小野寺さん。これまで「生活合理化運動」と称し、無駄・無理・見栄のない生活ができるよう取り組んできた自治会内での交際費の見直しに資源のリサイクルを加え、活動の強化を図っています。濁沼自治会は昔からの地縁を大切にした地域づくりを続けながら、これからも時代の流れに合った自治会活動を目指していきます。

磐清水地区を代表する名石「重箱石」と、ふるさと再発見ウォーキングで作成した標柱

有限会社　丸已建設

企業紹介

代表取締役
水谷　文昭さん

～基本情報～

◆代表取締役：水谷　文昭　さん
◆住所：〒029-0302
一関市東山町長坂字西本町 107-3
◆ＴＥＬ：0191-47-2480
◆ＦＡＸ：0191-47-2319
◆ＨＰ//http://www.marumikensetsu.jp

誠実な仕事と地域コミュニケーションで地域に根付いた建設業へ

郷土の匠、更なる飛躍へ

石灰石と清流砂鉄が織りなす豊かな自然と、伝統工芸品の東山和紙で有名な一関市東山町。この地に地元の匠として先代が創業を開始したのは、昭和49年4月のこと。建設のプロとして実績を重ね、平成元年10月に、有限会社丸已建設として改組しました。

今年で25周年を迎える同社は市内のお客様からのご注文が多く、その中でもっとも大切にしていることは「地域やお客様との信頼関係」と語る、現代表取締役の水谷さん。

「信用第一の世界ですから、現場での安全管理や品質管理を徹底し誠実に仕事をこなすことが重要です。さらに、大切なことは、地域住民の方々とのコミュニケーション。当社のお客様は、ほとんどが市内ですが、同じ市内でも各地域によって様々な事情があり、難局に際しては、日ごろのコミュニケーションが役立ちます」と続けます。従業員も地元を良く知る東山地域や大東地域内から採用し一人一人が地域住宅のアドバイザーとなるよう、社内教育や会社づくりにも力を入れているのです。

家づくりは「まちづくり」

同社は、平成19年に「ｅｃｏハウス研究会」に参加し、岩手の気候に合わせた「伝導型地中熱利用住宅」の事業化を決意。平成20年10月に岩手県初となる同住宅を完成し、翌年は「経営革新計画」が岩手県知事承認を受けました。この取り組みには、研究開発段階から一関工業高等専門学校機械工学科と共同で実施し、日本伝統民家の知恵を取り入れた「家族と地球が長生きできる住宅・何世代にも亘り住める家」が実現できたのです。

この「伝導型地中熱利用住宅」に取り組む原点となったのが、「自動車死亡事故よりも家庭内死亡事故が多く、その原因が急激な室内温度変化によるヒートショックである」という現実を知ったことです。同社では、地域で安心な暮らしを勧めるために、自社のホームページなどで広く情報を発信し啓発活動にも力を入れています。

「地域・風土にとけこむトータル的なまちづくりと不動産の提供」を将来の目標に掲げている同社は、このような活動を通し、より一層地域に根付く建設業を目指しています。

素敵な地域交流の開催

ＩＨクッキングヒーターの魅力を多くの方々に知ってもらうため、同社多目的ルームＧｒｅｅｎ（一関市宇南）を会場に「ＩＨクッキング体験会」を毎月1回開催しており、3月で41回目を迎えました。講師は、代表取締役の奥様で通称マドンナ先生。開催当初は無料でしたが、「こんなに素敵な体験会なら、また参加したいけど、無料だと気が引けるから有料にしてちょうだい」というリピーターの声から、現在は材料費として５００円を頂いています。

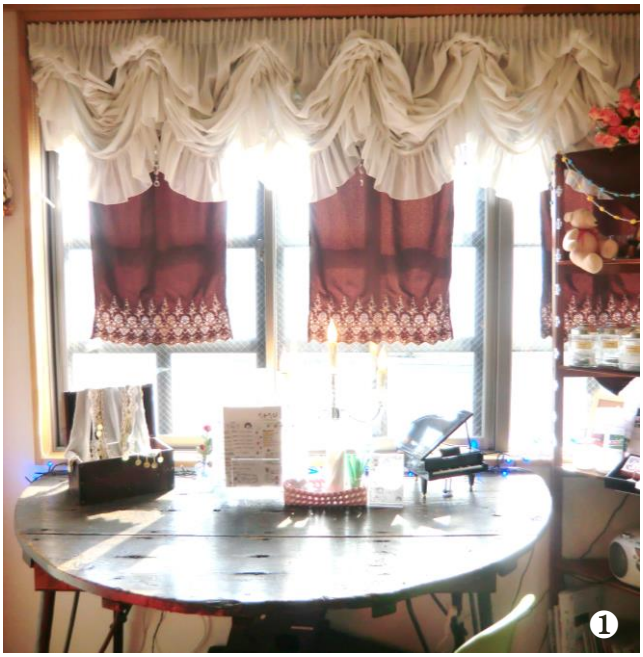
この体験会は「煮る・焼く・揚げる」という利用方法が学べるのはもちろん、地域住民の交流の場となり様々な情報交換ができることも魅力です。

「丸已建設は建物を建てるだけでなく、地域の方々が知りたい情報を発信・提供していける環境づくりを今後も継続していきたい」と語り、水谷さんご夫婦の地域に対する温かい思いが伝わる取材となりました。

◆◆◆◆センタースタッフの体験レポートです◆◆◆◆

歩（あゆみ）が行く

◆今回はさくらなみき自閉症美術館&café さくらなみきに潜入してきました◆



❶「café さくらなみき」店内の各席はスタッフがチョイスした小物が幻想的な雰囲気で、癒され満足度100%！！

❷店内の menu は手書きで温かみがあって良い感じです。入り口の看板もカラフルでかわいい。「今日のおススメは何かなぁ♪」

❸本日の「超ド級のおすすめ紅茶」、4 種類の中、「JEWELRY BOX」を頂きました。ホワイトチョコとラズベリーの甘い香りが心を癒し、ガラス製のティーサーバーの中では、ローズの花びらが舞い、目でも楽しめます。

❹「ママのパスタ」はトマトの酸味の中に甘さが引き立つナポリタン。キノコやソーセージがたっぷり入っていて、まさしく「ママが作ってくれるナポリタン」という感じで、優しい味。サラダとスープがセットで 850 円♪

❺お腹が満たされたあとは、1 階の自閉症美術館へＧＯ！！

❻今年 1 月 11 日から 3 月 23 日まで開催された、「第 9 回企画展イーハトーブの星たちⅡ」。美術館の白い壁に輝くように光る作品の数々。今回は「高橋和彦さん、水沼久直さん、菅原章さん」の三人展で、どの作品からも力強さと繊細さが伝わりました。

※磐井川堤防改修に伴い、残念ながらこの桜を伐採しましたが、一関市と国土交通省では「磐井川桜再生計画」を策定し、桜並木を再生することを計画しています。

■ 幻想と癒しのｃａｆｅと美術館

磐井川堤防の桜並木（※）を見渡せる立地にあることから命名された「さくらなみき」は、障がい者支援などに取り組む「いわて発達サポートセンターえぇ町つくり隊（熊谷葉一代表）」、「レスパイトハウス・ハンズ（小野仁志代表）」の両ＮＰＯ法人が平成24年９月に同市中央町の空き店舗を利用しオープン。1階が自閉症美術館、2階がカフェ＆ショップ、3階が生活介護事業所作業スペースで、美術館やカフェの一部は、各種ワークショップや講演・研修の場として貸出しも行っているとのこと。地域の方々との交流や美術館としてアート面の発信の場ということが伺えました。

リピーターも多い2階のカフェは、4人掛けが2席、1人～2人掛けが3席で、お客様が手作りしたパッチワークの装飾品や素敵な小物などが飾られ一つ一つの座席が落ち着きのある空間でした。また、市内ではなかなか味わえない、美味しい紅茶もいただけるのも特徴で、ガラス製のティーサーバーが冷めないようにと手作りカバーで優しさを感じながら、スタッフが厳選した紅茶をゆっくりと楽しむことができます。

1階の美術館では、企画展が開催されていました。市内外の自閉症作家らの鮮やかな色使い、繊細さが表現されており来場者の心を捉え、魅了します。

障がい者に限らず既成の美術教育を受けていない人が、自由に創造する純粋無垢な芸術作品のことをアール・ブリュットと表現するそうで、日本では「生の芸術」と訳されるとのこと。今回の企画展は3月23日まででしたが、作品は入れ替えをしながら常時展示しているとのことですので、ぜひ、みなさんもご覧になってみてはいかがでしょうか？（カフェにも来てね♪）

イベント ボランティア 情報コーナー

春の互市

藩政時代の物々交換の名残を今に伝える「互市」は、一関市花泉町の駅前通りで開催されます。当日は歩行者天国となり、農産物や植木の販売など、活気あふれる光景が見られます。ぜひ、ご家族そろってお越しください。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

【日時】平成 26 年 4 月 1 日（火）～3 日（木）
午前 9 時～午後 4 時頃まで
【場所】ＪＲ花泉駅前通り
【料金】見学無料
【問合せ】花泉中央振興商店街協同組合
【電話】0191-82-2437

陣の里スペシャルデュオライブ

PINK　BONGO で有名なジャズギターリスト宮崎（カポネ）信義とジプシーバイオリン竹内真知とのデュオグループ。個性的な組み合わせにもかかわらず聴く人を自然に引き寄せてしまう技量と、大人の貫録をお楽しみに。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

【日時】平成 26 年 4 月 12 日（土）
【時間】午後 7 時～
【場所】陶工房　陣の里
【料金】前売り 2,500 円　当日 3,000 円
【問合せ】一関市滝沢字寺田下 85-1
【電話】0191-48-3376（菅原）

えんそく. LAB

アーク牧場を会場に恋活オリエンテーションを開催します！雄大なロケーションの中、自然を満喫し、春の息吹と運命の出会いを見つけましょう！！

※電話、FAX、メール等で 4 月 4 日までにお申し込みください。厳選なる抽選の上、参加が確定した方のみ 4 月 8 日、9 日にご連絡いたします。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

【日時】平成 26 年 4 月 13 日（日）
【場所】館ヶ森アーク牧場
【定員】男女各 30 名（参加には会員登録が必要です。）
【料金】男性 6,000 円　女性 1,000 円
【問合せ】ＮＰＯ法人ファンスポルト一関
【電話】同法人　0191-48-4677

科学技術週間一般公開教室

一関市少年少女発明クラブでは全国行事の「科学技術週間」に合わせ、4 月 19 日（土）・4 月 20 日（日）の二日間一般公開教室を開催いたします。イベント内容は「モーター主体の”ものづくり”」携帯工具をお持ちの方はご持参ください。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

【日時】平成 26 年 4 月 19 日（土）20 日（日）
午前の部：午前 10 時～正午／午後の部：午後 1 時～3 時
【場所】なのはなプラザ 3 階公民館　創作室 2
【料金】無料（午前午後と参加される方はお弁当持参）
【問合せ】一関市少年少女発明クラブ
【電話】同事務局　0191-26-4928（千葉）

農村・農業体験受け入れ先募集

いちのせきニューツーリズム協議会では、農村・農業体験に来る、北海道や宮城県仙台市の中学生を一泊二日で迎えて下さる民家を募集しています。体験は、田植え・草取り・蒔割り等なんでもＯＫ。まずは、お気軽にお問い合わせください。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

【日時】平成 26 年 4 月 24 日(木)･5 月 14 日(水)･
5 月 27 日（火）のいずれか（一泊二日）
【料金】受入れ民家に謝礼金をお支払いいたします。
【問合せ】同協議会　事務局
【電話】0191-82-3111/FAX:0191-82-3112

春の室根石まつり

室根総合開発株式会社主催の「春の室根石まつり」は平成 26 年 4 月 26 日・27 日に開催されます。「室根石臼の振る舞い餅つき」「手打ちそば」「石窯ピザ焼き」のお振舞等イベントも盛りだくさん。ご家族そろってぜひお越しください。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

【日時】平成 26 年 4 月 26 日(土)･4 月 27 日(日)
午前 9 時～午後 5 時
【場所】室根石展示場（むろねっこ）
【問合せ】室根総合開発株式会社
【電話】0191-64-3888/FAX:0191-64-3889

一関市管内で活動している地域団体のボランティア等募集です。詳細等はお問い合わせ先にご確認ください。

発明クラブ指導員

一関市少年少女発明クラブでは、少年少女に対する〝ものづくり〟の指導をしてくれる有償ボランティアを募集しています。お気軽にお問い合わせください。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

【日時】毎月 2 回程度（土日）
1 回／2 時間程度
【場所】発明クラブ教室、一関公民館、
真柴コミュニティセンター
【報酬】2 時間で 1,000 円ほど
【問合せ】一関市少年少女発明クラブ
事務局　千葉　邦夫
【電話】0191-26-4928

お弁当屋さんのボランティア

ＮＰＯ法人ワークハウス雲では、同法人が運営する「雲の弁当屋」の簡単な調理やお弁当の配達を手伝ってくれるボランティアを募集しています。下記までお気軽にお問い合わせください。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

【日時】毎週火曜日・金曜日
午前 10 時～午後 1 時
【場所】雲の弁当屋とその周辺
【報酬】交通費（要相談）
【問合せ】ＮＰＯ法人ワークハウス雲
担当　渡邉　知子
【電話】090-7073-4985

いちのせき市民活動センター

センターの連絡先はこちら

住所：一関市大町 4-29
なのはなプラザ4F
電話：0191-26-6400
FAX：0191-26-6415
営業時間：朝9時～夜6時
休館日：日・祝
スタッフ：6名

ホームページ：http://www.center-i.org/

せんまやサテライト

サテライトの連絡先はこちら

住所：千厩町千厩字町 149
電話：0191-48-3735
FAX：0191-48-3736
営業時間：朝9時～夜6時
休館日：日・祝
スタッフ：3名

メール：center-i@tempo.ocn.ne.jp

ＦＭあすも

小野寺センター長出演の「人そだて地域そだて」のコーナー（毎週水曜日 11 時半～）の一部を紹介します。

◆3 月 12 日放送「愛のカプセル」

一関市では、緊急時に備え必要な情報を保管する「愛のカプセル（緊急医療情報キット）」を２年前から無料配布しています。愛のカプセルとは、筒状の容器に各家庭の家族構成や連絡先、服用している薬や持病等の情報を入れ、冷蔵庫に保管しておくことで、緊急時に誰が来ても対処できるようにと始まった取り組みです。４年前の会議で、参加者の方から出された愛のカプセルの話が実現し、市民の声がまちに活かされていることを嬉しく感じます。

お知らせ

◆市内の行政区長さん・自治会長さん対象のヒアリングを新年度も継続いたします。

いちのせき市民活動センターでは、市内各地域のことをより深く知り、今後の活動へ活かすことを目的に、それぞれの地域の特色（人・活動・資源・魅力・課題・環境・産業等）を区長さん、または自治会長さんに聞いて歩く取材をしています。

市内の全行政区･自治会を取材する予定ですので、地域担当のスタッフから取材連絡を受けた際は、どうぞよろしくお願いします。

４月のまちのお知らせ

1	春の互市～3 日まで（花泉）	16	
2		17	
3		18	
4		19	
5		20	きらら室根山展望台オープン（室根） 蟻塚公園桜まつり～5 月 6 日まで（室根）
6	第 19 回吉川なまずの里マラソン（室根） 春の全国交通安全運動～15 日まで（市内全域）	21	
7		22	てんとう虫教室「調理実習・アート交流（遊書・絵画）」（川崎）
8		23	
9		24	
10		25	
11		26	
12	せんまや夜市（千厩）	27	室根高原トライアル大会（室根）
13		28	
14		29	
15	てんとう虫教室「調理実習・アート交流（遊書・絵画）開講式」（川崎）	30	

今月の表紙

この写真は、昨年春に厳美小学校と統合した達古袋小学校内の廊下です。全長が119mもある校舎は全国でも珍しく、この校舎は地域のイベント会場としても活用されています。

編集後記

卒業・入学シーズンになりました。バタバタと通り過ぎる毎日ですが、「春」という響きだけで、心が躍ります。しかし、花粉症の私には少々つらいこの時期なのでした・・・

Q & A

あなたの「知りたい」に、担当スタッフが答えます。

Q1　報告書作成のポイントを教えてください。

A1　ポイントは「起・承・転・結」を意識して報告書を作成すると、ストーリーが明確になり、読みやすい報告書になります。活動を新聞などに取り上げられた場合は記事の切り抜きを載せるのもポイント。客観的な視点から事業が行われた事実が伝わり、信用にもつながります。